

第2回
(仮称)北統合中学校
学校再編代表者会議
議事録

日 時：令和8年2月24日（火）
場 所：ひかた市民センター

第2回 (仮称)北統合中学校 学校再編代表者会議

日 時 令和8年2月24日 (火) 午後6時30分

場 所 ひかた市民センター

議事日程

- 1 開 会
- 2 前回議事について
- 3 議 題
 - (1) 議案第1号 学校再編の可否について (諮問)
- 4 その他
- 5 閉 会

出席委員 (18名)

保護者代表

第二中PTA	井ノ上 直人	第二中PTA	諸持 典明
干潟中PTA	高安 忠廣		

地域住民代表

江ヶ崎西町区区長	中村 輝彦	中11区区長	菅谷 圭一郎
西18区区長	越川 雅昭		

学校教育関係者

第二中校長	齊藤 実
-------	------

福祉関係者・青少年育成関係者

主任児童委員	金谷 茂	青少年相談員	宮野 智
民生委員	大湊 一文		

その他教育委員会が必要と認める者

共保	和護	小者	廣岡 美穂	共保	和護	小者	高埜 真奈未
池の端保	育所	者	宮内 大知	共保	和保	育所	高安 めぐみ
中保	和護	小者	藤崎 理佐	萬保	歳護	小者	井上 真実

干潟町中央保育園
保護者

高木 奈保子

干潟中
学校運営協議会委員

花香 武見

欠席委員（6名）

第二中PTA 大林 哲也

干潟中PTA 鏑木 正彦

干潟中PTA 高木 真弘

干潟中校長 溝口 洋樹

新町仲町区区長 浪川 正彦

青少年相談員 石井 和芳

事務局職員出席者

教育総務課長 飯島 正寛

教育総務課長 八馬 裕樹

施設班長 石毛 厚史

教副校長 林 義樹

副校長 椎名 倫史

学校再編室 加瀬 政吉

傍聴者 2名

1 開 会

○事務局 本日は大変お忙しい中、ご出席いただきまして誠にありがとうございます。

それでは定刻となりましたので、これより（仮称）北統合中学校学校再編代表者会議を開催させていただきます。

なお、本日の審議会は、「旭市審議会等の会議の公開に関する要綱」第3条により公開するものとなっております。傍聴人の皆さまにお願いいたします。本日の会議は受付でお渡ししました傍聴要領を守っていただきますようお願いいたします。なお、会議の進行を妨げることがあった場合には、退場していただくこともありますので、ご注意くださいようお願いいたします。また、傍聴要領に記載のとおり、会場での写真撮影、録画、録音等を行わないようご注意ください。携帯電話をお持ちの方は、電源をお切りになるかマナーモードに設定していただくようお願いいたします。

2 前回議事について

○事務局 それでは次第の2前回議事について、担当よりご説明させていただきます。

○事務局 （資料説明）

○事務局 ただいまの説明に対して、ご意見等がありましたらお願いします。

○会長 資料5の3、学校の更新にかかる財政シミュレーションで、新築した場合20年で大規模改造ということなんですけども、これについては今までの学校も同様にやってきたのでしょうか。また、20年使うのでだいぶ痛むと思うので、外壁だったり、トイレ、水道関係とかも変えるのかなと思うんですけども、具体的にどういった改修工事が想定されるのでしょうか。

○事務局 今言っていたとおりのんですけど、20年経てば当然ながら外壁のひび割れとか防水シートの痛みとか、それからトイレだったりとかも時代に合った形での更新工事が必要となってきますので、そういったことを全部含めて大規模改造と呼んでおります。今の学校ですと教室にエアコンが全部付いていて、エアコンの耐用年数っていうのが短くて10年、長くて20年というところで、壊れた部品がなくなるということも想定されておまして、そういったことも含めて大規模に改造していくということで、おそらくこういった金額がかかってくるのかなというふうに予測しています。

○委員 新築した場合と二中を活用した場合の2つシミュレーションを出していただいた中で、新築の場合は2036年、二中を活用した場合は2030年ってことで、6年差が出てると思う

んですけど、これは最短で考えるとこの計画でいけるよってということでしょうか。

○事務局　今の二中を活用して最短で統合しましょうというふうに動き出した時に、例えばひかた椿小学校だったりとか、海上地域の小学校だったりとかを想定すると5年程度、要するに既存の建物を活用した場合の統合の最短ってというのが大体5年程度を想定しています。なので、既存の建物を活用すれば2030年にできる可能性があるよってということで、今2030年を想定しています。

新築した場合に関しては、先ほどスケジュール感の説明をした中で、8年から、おそらく用地交渉のタイミング等もありまして、10年程度がどうしてもかかってくるよっていう話になれば、おそらく2036年頃が想定されてきますので、そういった形で比較をしてるところです。

○委員　干潟のほうの会議で話があったんですけども、過疎債ってというのが使える地域があって、過疎の地域は補助金が入れてもらえるということで、この新築した場合70億円、これが確か40億ぐらいに減るっていう話を前に聞いたと思うんですけど、そうするとトータルが63億になるし、スクールバスもいらなくなるっていう認識であってますでしょうか。

○事務局　過疎債もそうなんですけど、実際には国の補助金も入りますので、過疎債ってというのは国の補助金が当たらない部分に対して使って、国から借金をして市は整備をするといった形になります。地域検討会議の時にご説明させていただいた資料の中では、国の補助金が70億のうち約10億円から11億円ぐらいの間になってくるかなと。それに対して過疎債が32億円くらいですね。こちら合わせて大体40億円程度、それ以外におそらく30億円程度が実質市の負担という形になってくるかなというふうに想定して計算しておりますが、実際には例えば南統合中学校の整備だったりとか、第二中学校の活用のほうにはおそらく過疎債は充てられなくなるのかなと。過疎地域じゃないので過疎計画がないですから過疎債は充てられないんですけども、過疎債以外の他にも有利な地方債とかそういったものがございますので、そういったものを活用して国の交付金が充てられない部分に関して、そういった形で地方債を組んでいくということになります。

○委員　スクールバスは通学距離6キロを目安に検討しますということで、地図を見ますと半径6キロだと豊畑学区がギリ入ってるんですね。干潟小学校と豊畑小学校を学区の見直しで入れたとしたら、半径6キロに豊畑学区の方も入ると思うんですよ。ただ前回お話した時に、スクールバスを使用している学校に勤めた先生からのお話ですと、色々制約があるということ、難しいという話を言っていたんですけども、中学校ですから、放課後の部活と

かそういうのがあるもので、一概にスクールバスを使うというのはいかがなものかなと思ったんですね。

そうしますと自転車通学という選択肢とあと保護者の送り迎えっていう選択肢が出てくると思うんですけども、半径6キロっていうと結構遠いんですね。そうしますと、一番遠い方がどうしても学区の関係で北中へ行かざるを得ないのか、もしくは学校が近いほう、実際には北中の学区なんだけど、現在の二中の学区にも通学できるという選択肢の話はできるのかなと、ちょっとそこら辺を聞いてみたいですね。今の現状で、これから考える予定のお話をしていただければなと思います。

○事務局 決められた学区は必ずあるんですけども、他の学校に行きたいっていう場合が、理由によっては認められるものがあるかと思います。その中で距離が近いという場合に学区の変更という形が認められる場合があります。

○委員 認められる場合があるというのは、認められるんですか、られないんですか。

○事務局 あくまでも原則ということなので、家庭の事情だとか、部活だとかいろいろ要件がありますので、あくまで原則というような形でご理解いただけたらと思います。

補足して、スクールバスの運用的なお話が出ました。これも通学距離6キロというものを原則論としてっていうような形で基本方針にも載せてるんですけども、これまた統合が決まったら、いろいろ通学の条件だとか、保護者の負担だとかいろいろ加味するところがあるかと思いますが。それはまた議論していただきながら、スクールバスの運用というところをまた再度議論していただけたらなというふうに思います。

○委員 財政シミュレーションをいただいたんですけども、新築した場合で、これは上物だけの価格で、プラスアルファで用地の取得とかにも別途かかってくるのかなと思うんですけど、目安としてどれぐらいを見ているのか。それをプラスするともっと額は増えてくるのかなって思っています。

○事務局 前にお示しした地域検討会議の資料の中では土地購入費用ということで、70億円の中に含めております。およそ3億円程度かかってくるのかなという形でお示しさせていただいております。その土地を仮に田んぼだったとすれば、それを造成する費用として約10億円を想定しています。

○委員 資料4と資料5に関わるところで質問させていただきます。旭二中を旭一中、二中、干潟中の統合校として使用する場合の例が示されていますが、校舎増築についてですが、プレハブを作って、生徒数の減少に伴い取り壊しをする方向なのか、その辺を聞かせていただ

ければと思います。それから仮に増築あるいはプレハブ等を作る場合、グラウンドに作るしかないかなと思うんですが、今の段階での計画案とか、そういったものがもしあればお聞きしたいと思います。

それからスクールバス、先ほど市役所のロータリーの利用というのも出てきたんですが、天神公園のほうを今現在旭二中の子供たちの送迎場所としてお借りしているので、ここを本格的にスクールバス等、旭二中としての送迎の場所というふうに、今後旭二中を使う場合には、なるのかどうかというのでも聞きたいと思います。

○事務局 まずプレハブの関係なんですけども、おそらく今後の統合を考えれば、その先の校舎の耐久年数とか耐力度を考えますと、プレハブ校舎を作って子供たちの数が減少するのに対応するっていうのはおそらくあり得ない話だと思います。なので今想定してるこの30億円っていうのは新しい校舎を建てる、足りない分を補って建てるということを想定してます。当然今と同じような形の鉄筋コンクリート造の建物の必要教室数を備えた部分を作るということで想定しております。実際に建物を建てる時の仮設校舎は作ります。

それから具体的な場所ですが、こちらに関しては現時点では具体的にどこに建てるのか、そういったことは全く想定できておりません。

スクールバスの活用に関して天神公園ということなんですけど、現在は第二中学校の東側で行ってる水道工事だったりとか、そういった形で公園整備のほうを、いろんな担当課と協議した中で、現在二中の送迎の仮設の駐車場といったことで、あくまでお借りしてるような状況となっておりますので、スクールバスを整備した時にこちらが専用駐車場になるかって言ったら、それは現時点では都市計画決定された公園ですので、完全に学校の敷地の一部と、専用ロータリーにするっていうのは実際難しいのかなというふうに考えてます。それはあくまで現時点での話ですので、今後もしそれが活用できますよって話になれば、協議のテーブルなどを用意する必要があるのかもしれませんが、なかなか都市計画決定っていった形で公園を整備するって言った中で、そういった専用にするのは難しくなってくるのかなと思います。

実際には例えば旭市で運行してるコミュニティバス、こちらのルート変更で活用ができるものなのかとか、そういったことも含めて、おそらく統合が決まった後の準備委員会等で検討していくことになるのかなと思います。

○委員 この会議は基本的には基本方針に対して賛成か反対かということでよろしいんですよね。今の二中を利用してっていうのは、反対ということになった後の話だというような認

識でいいでしょうか。基本方針に対して賛成か反対かということで進んでいた前回の会議において、生徒数の減少によって、新設するにしてもかなりの年数がかかる。その間に生徒の減少が進んでしまうので、それだったらそもそも2校でいいのではないかというような意見から始まってのこの二中を活用って、そういうことでいいわけですね。最初からこの二中案も具体的に検討するという意味ではないという認識であってますでしょうか。

○事務局 地域検討会議から始まっていろいろご意見をいただきました。その延長上で先日も皆さんからいろいろご意見をいただいて、参考までに資料を作成させていただきました。基本的には基本方針に則って、再編の可否というようなところで最終的な答申をいただくような形になります。その前段で参考資料としてご理解いただけたらなというふうに思います。

○委員 参考資料ということですので、仮に豊畑と干潟の小学校区域がこの北中学校のほうに入れば、生徒数のバランスもいいなというのもあくまでも参考であって、そちらの地域検討会議がまだできてないようですので、そちらのほうで反対だということになれば、こっちが勝手に言ってるだけという話になるということによろしいわけですよ。

もしこの基本方針に対し反対となった場合は、例えば共和、琴田のほうは統合の話がなかったとしても、旭二中のほうに通う、元のまま進む、そして干潟地域はそのまま干潟中学校のエリアで現状のまま進むということが続いていった結果、どうしても干潟中学校だけでは生徒数が立ち行かないとなった時に、またこのような会議を経て、改めてまた統合というようなことが進んで、だいた先に伸びるというような手順を踏まなければならないという認識であってますでしょうか。

○事務局 もしこの代表者会議の中で反対となれば、その他ということで、地域検討会議の時にもあったように、第二中学校に行くのかあるいは海上中学校に行くのかというようにご意見があったかと思います。それとも委員さんが言ってるように、しばらく統合しないで、人数的なもののある程度を見据えながら今の現状でいくというところ、また今後の方針ということで、さらにこの会議の中で詰めていただきたいなというふうには思ってます。

○委員 地域検討会議の時から人数のこと、バランスのことはすごくよく出てたんですけども、干潟のほうはどこかに再編でくつつくしかないんでしょうけども、くつつき方で反対になって、これが分解されるようなことがあった場合、干潟だけ取り残されてしまうような、それによって、より生徒数の減少に拍車がかかるというような懸念があったもので、ちょっと質問をさせていただきました。

○委員 地域検討会議の時に共和・琴田地区は反対という結論で、干潟地区は賛成という結

論になったと記憶してはいますが、今ご説明あったように、この北中を整備するとした場合でも約10年、私も10年くらいかかるのかなと思ったんですけども、今の説明でも10年くらいはかかると。そうした時に10年後でもう干潟中64人しかいないんですよ。干潟地区はもう早く統合してほしいということで賛成という結論に至ったと聞いてはいるんですけども、中学校を作ってもその時まで干潟中が持つのかどうかって、60人くらいの生徒数で中学校として維持できるのかが私はちょっと分かんないんですけど、60人っていうと一クラス20人ぐらいが3クラスあるっていう程度なんですけど、そこまで待てるのっていうのが私率直な疑問です。

だから本当にもう二中に統合していただいたほうが、2030年から統合中でやっていただいたほうが、干潟地区の皆さんもいいんじゃないかと。2036年まで待てますかっていうのが私の率直な意見です。なるべく早くっていうことなのは、二中に統合させてもらったほうが干潟としてはいいんじゃないかと。あとは通学のこととかは、スクールバスを考えると何か考えないと、これずるずるやってても時間が経つだけでなかなか決まらないんじゃないかなと個人的に思います。

そうなる今この計画に反対という結論になっちゃうんですけども、干潟地区は統合してほしいってことで賛成を出しましたが、2036年まで待てんのっていうのが正直な感想です。

○事務局　そういったご意見が出やすいように、うちのほうとしても資料提供させていただきたいと思いますので、今後さらにこういった意見をいただけたらと思います。

それではお時間の都合もありますので、続いて、次第の3議題に入りたいと思います。

これ以降の議事につきましては、旭市学校再編代表者会議条例第7条の規定により、会長が議長となります。井ノ上会長、よろしく申し上げます。

3 議 題

(1) 議案第1号 学校再編の可否について (諮問)

○会長　それでは、議事に入らせていただきたいと思います。

前回に引き続き、琴田小、共和小、萬歳小、中和小、古城小の5つの学区を対象に中学校を新設することについて話し合っておりまして、今回いろいろと資料を出してもらいましたが、その他に欲しい資料だったり、質問または意見がありましたらお願いします。

(発言する人なし)

○会長　先ほど干潟学区の方々からいろいろ意見をいただいたところで、干潟地域の検討会議の結果としては賛成多数となった、この言葉の通り自分としては認識していたんですけど

も、賛成多数ってということで全員の意見っていうわけではないと思うんですけども、やはりそれよりも早く統合したいっていうのも強い思いがあるという形でよろしいでしょうか。干潟エリアに中学校新設っていうのをすごい熱望してるわけでもないんですかね。

○委員　もうクラス対抗とかもできない感じなんで、話し合いの中で賛成なんですけど、早急に決めないってという思いもあって、そうなったところです。

○会長　干潟学区の方で何か今日のデータを踏まえてとか、率直な意見とかありますでしょうか。

○委員　もう干潟が困っているんで、新しいものを建てるか、それかどこかに吸収してもらえるかっていう、どっちかしかないと思うので、その辺をもうどちらかで決めないと、本当に人がいなくなってしまう、消えてしまうような感じだと思いますので、話し合いでどっちかにしてほしいかなと思います。

○委員　スクールバスはもう運用的に考えないほうがいいのかってというのが感想です。統合はもう早くして欲しいっていうのは思います。場所についてはそんなにこだわりは全然なくて、早く統合したいというふうな思いが強いです。

○会長　自分自身が旭側として反対多数ではあるものの、新しい学校を建てられればなって思いがあったんで少し困惑してる状況なんですけども、率直に早く統合したいっていう気持ちは分かりました。

今日のデータとか、頂いた意見を基に何かご意見がありましたら頂きたいと思います。

○委員　今お話を聞いていて、もう緊急性が高い話なのかなと思っていて、これ反対賛成を我々が意見するのもそうなんですけど、旭市として、教育委員会として2036年まで、行政としては今の状態のまま、新設校ができるまでの間、別々の学校でも何とかなるというふうに思われているのか、現場じゃなくて市として思われているのか。それとも例えばこれが賛成と決まって、2036年の新設まで待ちましようってなった場合に、干潟学区の方達に対して何かしらの、例えば違うところの中学校に行かせるための補助であったりとか、そういう何かしら違う形での支援っていうのは、何か考えていらっしゃるのでしょうか。

○事務局　今の時点では基本方針通りということで提案させていただきましたので、それ以上の支援は特にありません。

○委員　そうしたら2036年まで例えば待つっていうことになっても、それはそう決まったんだとしたら致し方ないっていう、今の基本方針の中ではそういう答えにどうしてもなってしまうっていうことなんでしょうか。

○事務局　そういったところで皆さんに議論していただいて、その合意形成の下で基本方針に沿って今までも議論していただいたと思いますので、今後も基本方針に沿ってというところで、うちのほうでも説明して、それに対して皆さんで議論していただいた結果として答申を受けるといった形には変わりありませんので、その辺でご理解いただけたらと思います。

○会長　諮問事項として学校再編の可否、今回反対しますとなった時に、建てる、建てないを先延ばしにしつつ、まずは干潟の皆さんを海上中だったり二中に振り分けるっていうのを並行しながら、そういったところも並行しながら審議していくとか、そういったやり方もありなものでしょうか。

○事務局　もし仮に反対というような形で答申になれば、先ほど言ったように干潟中の子供たちを海上中、あるいは第二中学校に通わせるっていうところのご意見も含めて、この会議の中である程度の方向性をお示ししていただけたらなというふうに考えています。

○会長　今のところ結構反対多数なのかなと思ってるんですけども、この5つの学区で新設したいですっていう方はいらっしゃいますでしょうか。

○委員　この会をまとめる立場としては会長も大変だと思います。どうまとめてくださるのかなという思いでみんな見てました。やはり干潟地区が賛成ということで来た経緯、そしてこの議論しながらスピードっていう面で、これはもっと急ぐことができるものなのかっていうのがまず一つあります。

それと私地域代表で来てますから、干潟にしてもその廃校となった小学校や中学校をどうするのかっていうことを両方で考えてくださいという話を私はしてきましたので、その辺考えていただけるのでしょうか。つまりそういう話もしていかないと、地域は子供たちっていう面ももちろん一番優先順位としてありますが、残された地域の発展っていうことを思ったら、例えば統合で北中学校ができるということで、そのスピード感でやって、とにかくやってくれて言ったら、干潟地区がみんなバラバラで、干潟地区全体ということを考えてみると、もう一つの忘れてはいけないのは、やっぱり地域あっての子供たち、子供たちあっての地域っていう両面で考える必要があるんじゃないかなと思いますんで、是非議事録に残してもらいたい。

あと単刀直入にスピードっていう面ではどうなのかという質問を、市や教育委員会が別々の立場で答えていただけるのであれば答えてもらいたい。日本の政治は今スピードじゃないですか。スピーディーな対応ができるような国のイメージがある中で旭市はどうなのかなっていう質問もしてみたいなと思いました。

○事務局 仮にもし統合が決まって中学校が廃校というような形になれば、当然そこには跡地活用というような形で、今後準備委員会等でどういうふうな形で跡地活用をするのかというところも議論していただきます。

それとスピーディーなっていうようなご意見がありました。また繰り返しになりますけども、うちのほうとしましてはまず再編の可否といったところで答申をいただいて、さらに生徒数の推移を踏まえて、もう少しそのスピード感を持たすということであれば、また別の方向性をこの会議の中で決めていただけたらなというふうに考えております。

○委員 私の率直な意見として、早急にという話だったので、新築で5年10年と経ってしまう、もし土地を譲らないっていう方が現れたり、理解が難しいっていう方だったらもっと延びてしまうと思うと、実際10年以上かかるなら二中を活用したほうがいいのではないかなと思ってしまうしました。

あと、もしこれで賛成となったら、10年以上経ったら人数が少なくなってしまうっていう話もあって、市としては、次はどれくらいになったら統合を考えていたのかなっていうのもちょっと気になったところではあります。

○事務局 今後の統合のあり方、あるいは基本方針の見直しっていうところも出てこようかと思えます。令和7年に国勢調査をしました。来年度また人口推計の数値が出てこようかと思えます。その辺の数値をある程度見定めて、また基本方針の見直しというようなところで議論していくと考えております。

○委員 これで反対となった時に基本方針を見直すというお話しですけども、スケジュール的にはこれで反対になったら、また1年とか遅れちゃうわけですかね、方向性が決まるのが。方針が市で決まるまでにまた1年とかかかると、また統合が1年遅れるということになっちゃうんですかね。小学校の時もそうだったんですけども、学校がなくなるというのはものすごい寂しいという意見が、小学校も3地区にあったのが1つになっちゃうわけなんで、やっぱり中学校もなくなってしまうというのは地域としては本当に、委員の中で忍び難きを忍び、耐えがたきを耐えと言った委員がいましたけど。ただ子供たちのためには何とでもいい環境の中で勉強してもらいたいっていうのは、地域もそうですし、保護者も皆そうだと思いますんでね。その辺がまたこれで1年遅れちゃうよと。二中で統合とか、この会議で決めたとしても、市で認知されるまでにやはりまた1年かかっちゃうとか、その辺が歯痒いんですけども。でもせつかく何らかの形で統合するんで、何とかいい方向は見出したいとは考えています。

○事務局 最終的に反対になった場合の、その他の方向性というところのお話もあったかと思いますが。その期間がっていうところは申し訳ありません、今の時点では何とも言い難い話なんですけども、皆さんがここで答申にいただいた意見というのうちのほうとしても尊重しながら議論をしたいなというふうに思います。

○会長 今懸念されてることとしては早急に吸収、統合してほしいっていうのと、できればもちろん地元には1校はあるべきだと思っておりまして、逆に琴田・共和の方から新設に対して、通学上の距離の問題とか何か重く感じることはありますでしょうか。

私は単純に国道に近い子が北側に行くのは大変かなと思って、ちょっと前回も言いましたけど学区にこだわらない、もう地区ごとに通学エリアの見直しが必要かなって思っていたところでした。それであれば新設がいいと思っていたところです。

○委員 自分は実家のほうが旭市と海上町の境目にあります。そこで考えると海上中と二中に行くので比較すると海上中のほうが近かったり、今まではそれなりに遠かったけど二中に行っていましたけど、今度統合した先に行くとなると、また遠くなってしまうっていうことがどうしても出てきてしまうのかなって思っています。あと、毎回私言ってるんですけども、北統合中に通うとなると通学の問題が出てきてしまうのかなと思います。特に広域農道を渡りますってなると、やはり交通量があるし、畑の中を歩いて行ってもやはり広域農道を渡ってという所があるので、街灯もないところで、単に統合、新築っていうだけではなくて、やはりその辺の整備を含めてしてもらいたいし、できればやはり二中に、街の中に入っていくので人の便もあるし、明るさもあるので、自転車でも女の子でも通いやすいかなって思っていて、できれば二中に行かせてあげたいかなという個人的な意見です。個人的にはそう思っていますけれども、琴田地区の皆さんが全部が全部そういう意見ではなくて、やはり新しい学校がいいっていう意見もあるかなと思っています。

○委員 地域検討会議では最終的に皆の意見をまとめたのが5回目くらいだったと思うんですけど、今回もそれくらいまで今のような会議を続ける予定でしょうか。

○会長 皆さんの雰囲気では賛成か反対か今日決めちゃおうかなって思っていたんですが、スピード感をもって。

○委員 私もそう思っていたので、可否を聞きちゃって、先に進んだほうがいいんじゃないかと思いました。

○委員 干潟中学区の方に伺いたいんですけど、例えば二中に来ることになった場合、普段はもしかしたらバスが通って、それで子供たちが来ることになるかもしれないんですけど、

送り迎えをどうしてもする必要がある時はあると思うんです。距離が結構遠くなると思うんですけど、それに対する意見っていうのは、距離が遠くなって嫌だとか、ちょっとそれが負担だとか、たぶん部活とかやったら、やっぱり送り迎えも多くなると思うんですよ。そういうところは抵抗はないのかなって聞きたいと思います。

○委員 自分も主人も働いていて、送迎を頼めるようなおじいちゃんおばあちゃんもいないので、非常に厳しいなっていうふうに思っています。スクールバスがあればもちろんそれを利用させていただき、子供には自転車で登下校してもらうしかないかなと思っています。

○委員 ちょっとまだ実感が湧かないっていうか想像つかないんですけど、確かに送迎頼める人がいない場合はちょっと困るなって思います。こひつじ幼稚園に行っていたんですけど、その時はおじいちゃんおばあちゃんとかも手伝ってくれてたんですけど、この先ちょっとそれも難しくなるかなって思うので、ちょっと答えが出せないって感じですね。

○委員 私は送迎に関しては特に大丈夫かなと思います。実際に大原幽学のほうから二中に自転車で行ってる子もいるので、それを見ちゃうと自転車で行けるなって思ってしまう。

○委員 実際に中学校二人もう卒業したんですけど、大変です。毎日のことなんで。干潟中だったら10分ぐらいで行って、帰ってきて20分、30分ぐらいかかるんですけど、二中までになっちゃうと1時間はかかっちゃうんで、もうそれが毎日になりますんで相当負担になります。

○委員 送迎についてはかなり大変になるなという印象です。二中に娘がバスケ部で合同練習とか行ったこともあるんですけど、二中の駐車場が狭くて、道路も狭くて大変だなっていうのが感想です。

○委員 送迎の問題ですが、私地区の代表では意見を言わせてもらいましたが、個人的には障害福祉の施設を運営していて、もう時代が変わりましてね、送迎がもう主なんですよ。送迎がないところには行かない、行かせないっていう時代にあって。ですから基本的には6キロ以内であればとかじゃなくて、短かろうが、6キロだろうが、送迎は是非お願いするべきなんじゃないでしょうかね、この会として。海外はみんな近かろうが遠かろうが、みんな送迎付きなんですよ。それうちの仕組みで言えば、送迎加算って言って国から援助があるんですね。だから一概に1バスで1,000万って言えないと思うんでね。いろんな方法論があると思いますが、我々は行政でも政治家でもないわけですけど、やはり送迎ありきっていうことをもって議論のスタートをするっていうぐらいまとめたらいかがですか、会長。施設運営していると送迎がないところには行かない、行かせないですから、うちは職員がやってるん

ですよ送迎を、ドライバーじゃなくてね。雇うと高いもんですから、私もやります。そのぐ
らい送迎の重要性、それと距離と本人との問題もありますけどね、時代が変わってきてます
から治安の問題があつてね、大変ですよ。やはり送迎はあるべきだつていう意見でまとめた
ほうがいいんじゃないかなと思いました。障害福祉の世界は今そうです。

○会長 先ほど原則6キロっていうことであつたんですが、そういったところもこの会で話
し合うべきだと思いますので、今後話し合えればなと思います。

それでちょっと今日6名の方もいらっしゃらないつていうところもあるので、次回の最初
にこの議案ですね、5つの学校を対象に中学校を新設することに賛成か反対かということ
を皆さんから決を取りたいと思っております。

まずは直面している干潟中の生徒数が少ないから早めに編入させなければならない、そし
て新設するに当たっても共和、琴田の通学エリアの見直しつていうのもちょっと考えなけれ
ばならない。そして送迎についての距離、6キロということはあるんですけども、そういった
ところもちょっと見直すことも議論していかないといけないかなと思っております。

今のところは以上の3点でよろしいですかね。ではちょっと遅くなってしまったんですけ
ども、今日のところは一旦これで閉めたいと思います。進行を事務局にお返しします。委員
の皆様、議事の進行についてご協力ありがとうございました。

4 その他

○事務局 それでは最後に次第の4、その他ということで、事務局より事務連絡をさせてい
ただきます。

○事務局 (事務連絡)

5 閉会

○事務局 長時間にわたり本日の会議ありがとうございました。

これにて第2回代表者会議を閉会にさせていただきたいと思えます。

【閉会：午後8時16分】